

大東市での地震災害の特徴

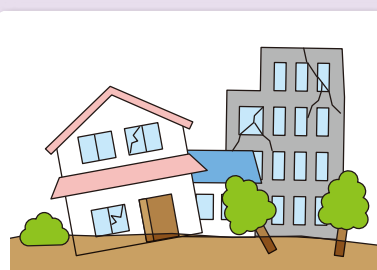
平成23年3月に発生した東日本大震災でも明らかにされたように、地震は、ひとたび発生すれば、さまざまな被害を同時にもたらす極めておそろしい災害です。

特に南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に発生する確率が80%程度であり、切迫性の高い状態です。

地震によって発生する災害や被害の種類



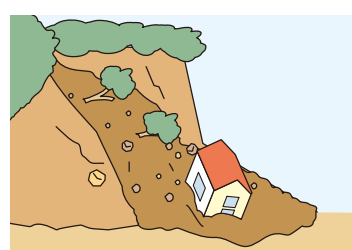
揺れによる被害



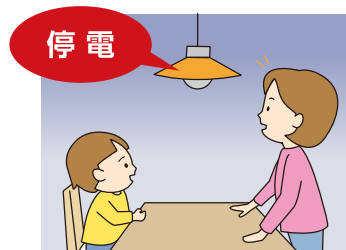
液状化による被害



出火・延焼による火災被害



土砂災害



ライフラインの機能停止



帰宅困難



交通手段の寸断、停止



大東市の地震の被害想定(大阪府の調査より)

想定地震	全壊建物	半壊建物	死者数	負傷者数	避難所生活者数
生駒断層帯地震	13,566棟	8,512棟	445人	1,264人	23,494人
上町断層帯地震	3,573棟	5,366棟	23人	1,832人	8,972人
南海トラフ巨大地震	1,762棟	5,695棟	21人	483人	23,276人

地震災害から命を守るためには？

地震発生時、あなたがとるべき行動

地震が起こったら、まず揺れから身を守ることが大切です。身を守るための対処法を覚えておきましょう。揺れから身を守った後は、状況を確認するために情報収集をしましょう。

屋内にいたら

家の中では

- 大きな揺れを感じたら、テーブルの下に隠れ、身を守りましょう。
- 裸足で歩きまわらないようにしましょう。
- 乳幼児や病人、高齢者などの安全を確保しましょう。



会社では

- 窓際や資料棚など、物が落ちてくる場所から離れて、机の下などに入って身を守りましょう。

安全確認 電気・ガス
避難が必要な時には、ガスの元栓や電気器具からの出火を防ぐためブレーカーを落として避難する。



学校では

- 先生や校内放送の指示に従いましょう。
- 教室にいたるときは、すぐに机の下にもぐり、身を守りましょう。
- 窓や本棚から離れましょう。



エレベータの中では

- 自動停止した階で降りましょう。自動停止しなければ、すべての階のボタンを押し、停止した階で外に出ましょう。
- 閉じ込められたときは、非常ボタンやインターホンで連絡をとり、救出を待ちましょう。



屋外にいたら

繁華街では

- ガラスや看板などの落下物に注意しましょう。
- 頭上からの落下物があるときは手荷物などで頭を守りながら、近くのビルなどに逃げましょう。



地下街では

- 柱や壁に身を寄せて、あわてずに揺れがおさまるのを待ちましょう。
- 火災が発生した場合は、ハンカチなどで鼻と口をおおって、壁づたいに姿勢を低くして地上を目指しましょう。



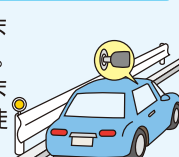
電車の中では

- 転倒や落下物に注意して、つり革や手すりにつかまりましょう。
- 座っているときは、足を踏ん張って上体を前かがみに、手荷物などで頭を守りましょう。



車の運転中では

- 道路の左側にゆっくりと停車し、揺れがおさまるまで車内ラジオなどで情報を聞きましょう。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ロックせず、車検証などを持って、徒歩で避難しましょう。



地震から身を守る方法

まずは！

- 落ちついて、自分の身を守る。
- 揺れがおさまってから、すばやく火を始末する。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。



次に…

- 火元を確認、出火していたら初期消火。
- 家族や周りの人の安全を確認。
- 非常持出品を手近に用意する。
- 逃げるときは靴をはく。

